

三菱UFJフィナンシャル・グループ
株主の皆さまへ

第3期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)



Quality for You 
MUFG

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
私から、過年度の業績およびグループの現況などをご説明いたします。

平成十九年度の業績

平成十九年度の連結当期純利益は、前年度比約二千四百億円減少し、六千三百六十六億円となりました。これは、サブプライム問題等を契機とした内外金融市場の混乱に伴い業務粗利益が減少したこと、保有株式において減損が発生したことなどが主な要因です。

一方、貸出や預金の残高は堅調に伸びており、また経済成長が続くアジアを中心に海外ビジネスは順調に拡大しております。

不良債権比率は1・15%、自己資本比率は11%台を確保し、引き続き健全な財務基盤を維持しております。

なお、サブプライム問題に端を発した市場の混乱は、内外の実体経済への波及が懸念される状況であり、引き続き注視してまいります。

新システムへの移行

本年五月に、三菱UFJ信託銀行の預金・信託・

為替等の基幹システムの統合が完了、三菱東京UFJ銀行においても、旧東京三菱店での新システムへの移行が終了しました。

移行の際にはATM等の一部休止や一部障害の発生など、お客さまをはじめ関係各位にご不便、ご迷惑をおかけし、また株主の皆さまにはご心配をおかけしたことにつき改めてお詫び申し上げます。

旧UFJ店のシステム移行は、七月以降約半年をかけて実施してまいります。今後もATM等の一時休止を予定しており、引き続きご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

グループ総合力の強化

MUFJG発足以来、グループ総合力の強化に向け、態勢づくりに取り組んでまいりました。

昨年九月には三菱UFJ証券を完全子会社化、本年八月にも三菱UFJニコスの完全子会社化を予定するなど、その具体化に向けた取り組みは着実に進



んでおります。
また、今後成長が期待されるクレジットカード事業においては、JALカードへの出資やJALグループとの業務提携などを通じて一層の拡大を図ってまいります。

成長戦略

グループ銀行における新システムへの移行、グループ総合力強化と、今後の飛躍に向けた基盤固めは着実に進んでいます。今後は、グループ内の経営資源をリテール分野、アジアを中心とした海外ビジネス

スなどに戦略的に投入し、一層の収益の拡大を図ってまいります。

今後とも、企業価値向上に向けて役員一同、力を合わせてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成二十年六月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役社長

畔柳信敏

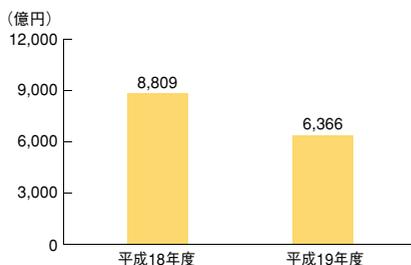
決算のポイント

- 連結当期純利益は、連結粗利益の減少や株式の減損発生、与信関係費用の増加を主に、前年度比2,443億円減少の6,366億円
- 不良債権比率は、前年度末比0.31ポイント低下の1.15%。連結自己資本比率は、11%台を確保し、引き続き強固な財務基盤を維持
- サブプライム関連商品を含む証券化商品などへの投資に伴う損失は約1,230億円

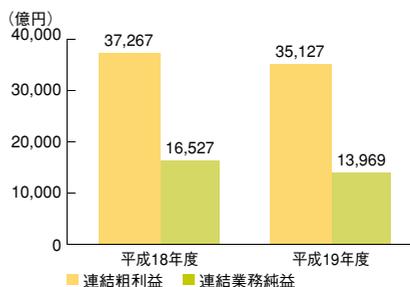
〈損益の状況〉

連結粗利益は、国内法人向け貸出の競争激化や金融市況の悪化の影響などから、前年度比2,140億円減少の3兆5,127億円となりました。
システム統合や内部管理強化などにより、営業費も前年度比417億円増加した結果、連結業務純益は前年度比2,558億円減少し1兆3,969億円となりました。
また、与信関係費用の増加や株式関係損益の悪化などもあり、連結当期純利益は前年度比2,443億円減少し、6,366億円となりました。

連結当期純利益



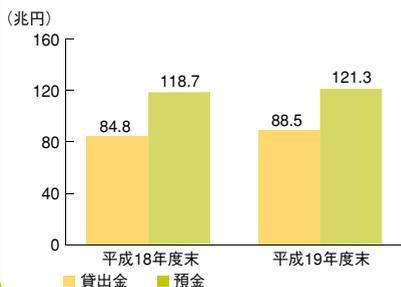
連結粗利益・連結業務純益



(注) 計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。

従って、説明文中の増減数値とグラフ・表中に表示された計数を加減した場合の差異が一致しないことがあります。

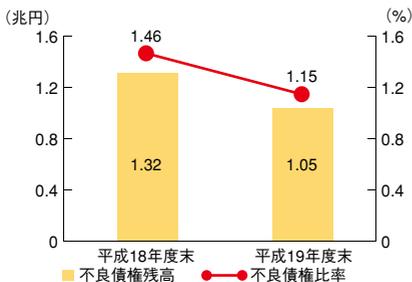
貸出金・預金



〈貸出金・預金の状況〉

貸出金は、海外貸出の増加により、平成18年度末比3.7兆円増加し、88.5兆円となりました。預金は、個人預金、海外店預金の増加などにより平成18年度末比2.5兆円増加し、121.3兆円となりました。

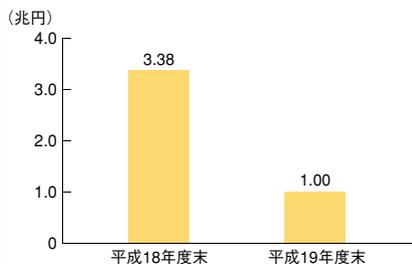
不良債権残高・比率



〈不良債権の状況〉

不良債権比率は、お取引先の業況回復に伴う債務者区分の上方遷移(格上げ)や不良債権処理の進捗などにより、平成18年度末と比べ0.31ポイント低下し、1.15%となりました。不良債権残高も平成18年度末と比べ0.26兆円減少し、1.05兆円となりました。

有価証券の含み損益



〈有価証券含み損益の状況〉

株式の含み益減少等により、有価証券の含み損益合計(その他有価証券評価差額)は、平成18年度末比2.37兆円減少し、1.00兆円となりました。

サブプライム関連・SIV投資に関するQ&A

Q. 米国低所得者向け不動産貸出（サブプライムローン）関連商品に対する MUFG の投資状況や損益への影響等について教えてください。

A. 平成19年度におけるサブプライム関連商品およびSIV*投資の損益への影響額は、SIV投資の売却損・減損などを主因として、約810億円の損失となりました。投資残高および評価損などは下表のとおりです。

平成19年度中に実現した損失	△810億円(うち売却損340億円、減損470億円)
平成19年度末時点の投資残高(減損後)	2,030億円(うちSIV投資60億円)
平成19年度末時点の評価損(減損後)	△440億円(うちSIV投資0)
格付分布状況	サブプライム関連投資(SIV投資を除く)の98%は、トリプルA格

(注) 計数は10億円刻みで表示(億円単位で四捨五入)

上記のサブプライム関連投資およびSIV投資以外の証券化商品への投資による平成19年度損益への影響は、約420億円の損失となりました。

なお、当社の保有する有価証券全体の評価損益は、株式市場の下落の影響などもありましたが、平成20年3月末時点で1兆円の評価益となっています。

*SIV(Structured Investment Vehicle)とは、劣後債や短期のコマーシャルペーパー(CP)等で投資資金を調達する一方、比較的長期の証券化商品や社債などに投資し、運用と調達の利回り差で収益を得ることを主目的とする投資会社のことです。

Q. 証券化商品全体への投資状況を教えてください。

A. 当社では、投資対象の多様化やポートフォリオ全体の分散・最適化などを目的として、証券化商品への投資を行っています。

平成20年3月末時点の証券化商品全体の投資残高は約3.32兆円、評価損は約3,130億円となっています。

なお、証券化商品投資残高の99%は一次証券化商品*であり、トリプルA格が80%を占めるなど、質の高いポートフォリオを維持しています。

*一次証券化商品とは、「貸付債権等の(証券化商品ではない)原資産を裏付けとして証券化した商品」です。「証券化された商品を原資産として、さらに証券化したもの」を二次・三次の証券化商品と呼びますが、一般的には二次・三次証券化商品の方が、リスクがより複雑となります。

平成19年度の業績について

(単位：億円)

損益の状況(連結)	平成18年度	平成19年度
連結粗利益(信託勘定償却前)	37,267	35,127
うち資金利益	19,044	18,420
うち役務取引等利益	11,586	10,735
営業費	20,740	21,158
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入・信託勘定償却前)	16,527	13,969
臨時損益(△は費用)	△ 1,955	△ 4,088
うち与信関係費用	△ 1,961	△ 3,447
うち株式等関係損益	1,271	△ 248
経常利益	14,570	10,290
特別損益(△は損失)	516	△ 81
うち償却債権取立益	1,112	398
うち貸倒引当金戻入益	93	—
うち偶発損失引当金戻入益(与信関連)	—	21
うち減損損失	△ 186	△ 147
うち構造改革損失引当金繰入額	—	△ 640
法人税等十法人税等調整額	5,288	3,012
少数株主利益	989	830
連結当期純利益	8,809	6,366

与信関係費用総額(△は費用) (信託勘定償却十一般貸倒引当金繰入十与信関係費用十貸倒引当金戻入益十偶発損失引当金戻入益(与信関連))	△ 1,869	△ 3,016
---	---------	---------

資産・負債の状況(連結)	平成18年度末	平成19年度末
資産の部	1,872,810	1,929,931
うち貸出金	848,319	885,388
うち有価証券	482,076	408,516
負債の部	1,767,573	1,833,934
うち預金	1,187,086	1,213,073
純資産の部	105,237	95,997

新システムへの移行について

三菱東京UFJ銀行

平成二十年五月十二日に、旧東京三菱店約二百五十店舗において新システムへの切替が終了しました。これにより、旧東京三菱店に口座をお持ちのお客さまは、「メインバンク」総合サービスの同行ATM時間外手数料が優遇される運用資産残高の条件が、「五十万円以上」から「十万円以上」に引き下げとなったほか（五月実施）、通帳繰越がすべての店舗のATMでご利用いただけるようになりました（六月実施）。

旧UFJ店は、平成二十年七月から十二月にかけて、順次新システムに移行する予定です。

移行作業のため、ATMなどオンラインサービスの一時休止を実施いたします。ご不便をおかけして誠に申し訳ございませんが、何とぞご理解を賜りますようお願いいたします。

三菱UFJ信託銀行

三菱UFJ信託銀行では、平成二十年五月七日に預金・信託・為替等の基幹システムの切替が完了しました。今後、一層のサービス向上に努めていきます。

中国現地法人広州支店の開設について

平成二十年三月、三菱東京UFJ銀行の中国における全額出資子会社「三菱東京日聯銀行（中国）有限公司」の広州支店が営業を開始しました。

中国華南地域の中心都市である広州市には、近年、自動車関連メーカーをはじめ多くの日系企業が進出しています。同行は、昭和五十九年に駐在員事務所を設立し、現地の情報収集やお客さまの拠点設立のお手伝いなどを行ってきました。今回の支店開設により、預金・融資業務から送金、外国為替まで、企業のお客さま向けに幅広い金融サービスを提供していきます。

広州支店の開設により、三菱東京日聯銀行（中国）有限公司の中国本土におけるネットワークは、邦銀最大の七支店。このネットワークを活用し、お客さまに一層充実した総合金融サービスを提供していきます。



「R&Iファンド大賞2008」受賞

「R&Iファンド大賞2008」の確定給付年金の分野で、三菱UFJ信託銀行の五つのファンドが表彰されました。また、投資信託の分野では、三菱UFJ投信の三つのファンド、国際投信投資顧問の一つのファンドが各々表彰されています。

「R&Iファンド大賞」とは、格付投資情報センター（R&I）が、恣意性を排除した基準により、投資信託、確定拠出年金、確定給付年金の各分野で、優れた運用成績を残したファンドを第三者の立場から表彰する制度です。



三菱UFJ信託銀行をはじめ各社では、今後もさらに運用力と商品性の向上を図り、多様化するお客さまのニーズに積極的にお応えしていきます。

「東証IRフェスタ2008」に参加

MUFJは、平成二十年四月に東京ドームシティプリズムホールで開催された「東証IRフェスタ2008」に参加しました。「東証IRフェスタ」とは、東京証券取引所が、上場会社による情報開示の充実と個人投資家によるIR情報の一層の活用促進を目的に、今回初めて開催した個人投資家向けIRイベントです。

当社は、本会場内にブースを出展したほか、水野専務取締役による会社説明会を開催。個人投資家の皆さまにMUFJをよりご理解いただけるよう、グループの概要や経営戦略、CSR（企業の社会的責任）活動への取り組みなどを説明しました。



会社説明会



会場ブース

MUFGLレポート ～海外拠点紹介第四回～

三菱東京UFJ銀行ホーチミン支店

「第二次ベトナム投資ブーム」のなか、中国・インドに次ぐ高い経済成長を誇るベトナム。今回はベトナム最大の経済都市、ホーチミンをご紹介します。

ホーチミン市内の空港に降り立つと、肌を包むのは南国独特のムツとした熱気。南北に細長い地形を持つベトナムは、四季のある北部、常夏の南部というように、地域により気候が大きく異なります。近年では、製造業を中心に日系・欧米系企業の進出が盛んですが、人口の約七割は現在でも農村部に暮らしています。エビやゴム、カシューナッツなどを輸出しているほか、コーヒーは世界有数の輸出量を誇ります。

ホーチミン市といえば、かつて「極東の真珠」「東洋のパリ」と呼ばれた街。市内を歩くと、聖マリア教会をはじめ数多くの西洋風建築物に出会えます。また、あちらこちらでカフェやコーヒー屋台が軒を連ね、フランス植民地時代の面影を感じさせます。

近郊には、ベトナム戦争中に掘られたクチの地下



トンネルや、軽井沢のような高原の避暑地グラットといった観光スポットが数多く点在。また、カンボジア



ホーチミン市内にあるフランス建築の聖母マリア教会



サイゴン川

のアンコールワット遺跡へも飛行機で約一時間という近さです。

船旅を楽しむなら、市の中心を流れるサイゴン川へ。河口の都市、プンタウまでの道のりを、マングロープの森や港の景色を楽しみながら約一時間かけて進みます。プンタウに到着したら、町の南端にある山に登ることをお勧めします。山頂には高さ三十メートルの白いキリスト像が立つ展望台があり、眼下に広がる南国の街と海岸線のコントラストは絶景です。

おなががすいたら、ベトナム料理はいかがでしょう。フォー（米でできた平打ち麺）やゴイ・クオン（生春巻）が有名ですが、魚介類を多く使ったメニューも豊富で、日本人にはなじみやすいようです。

支店をご紹介します



平均年齢二十六歳ともいわれる若い国民が、喧噪のなかをバイクで行き交うホーチミン市は、日本の高度成長期をほうふつさせます。大正九年（一九二〇年）開設の横浜正金銀行サイゴン出張所を起源とする三菱東京UFJ銀行ホーチミン支店は、戦争により閉店した時期もありますが、平成八年（一九九六年）、ベトナム戦争後初の邦銀支店として再開しました。

現在、ホーチミン日本商工会の会員企業は急増中で、さらに多くの日系企業の進出が期待されています。邦銀随一の歴史と取引基盤をもとに、今後も幅広いサービスでお客さまのビジネス展開を積極的に支援していきます。

社会とともに

MUFGは、将来を担う子どもたちが、その可能性を思う存分伸ばせるように、さまざまな活動を通じて環境づくりに貢献しています。

MUFGは社会貢献活動の一環として、平成二十年二月十六日から三月二十七日にかけて、少年サッカー大会を東京、愛知、大阪でそれぞれ開催しました。これは卒業間近の小学六年生を対象としたもので、小学校時代の最後の思い出となる機会を提供したものです。

小学生時代は、技術レベルの向上も大切ですが、むしろ仲間とのきずなや他チームとの親睦などサッカーを通じた人間形成や思い出づくりが大切な時期といえます。

MUFGでは、CSR活動の重点領域として「次世代社会の担い手育成」に取り組んでおり、四月から中学生となる少年たちにエールを送る大会として、この大会を企画・実施しました。大会では、元Jリーガーとの交流の場や礼儀・作法に



東京大会



大阪大会



愛知大会



関するNPO団体の講座も実施し、参加した小学生は千七百十五名、社員のボランティア参加は百名を超えました。参加した小学生からは「最後にみんなで試合ができてよかった」など、喜びの声が寄せられました。

グループ各社の事例

MUFJ各社は、地域社会の一員として、地域貢献活動に取り組んでいます。その一例をご紹介します。

三菱東京UFJ銀行 中学生向けの職場体験会を実施

三菱東京UFJ銀行塚本支店（大阪市淀川区）では、平成二十年二月に、近隣の中学生を対象とした職場体験会を開催しました。従業員が、銀行業務を解説したガイドブック等を使用しながら、実務やビジネスマナーについて説明。その後、支店内を見学、実際にお客さまをお迎えする体験もしました。

二日間の研修の最後には、「あったらいいなこんな銀行」というテーマで話し合い、さまざまな意見が交わされました。

参加した中学生からは「仕事の楽しさ、厳しさや『働く』ということが実感できた」との感想が寄せられました。



三菱UFJ信託銀行 小学生を招いてスポーツ大会を開催

三菱UFJ信託銀行は名古屋地区にて、平成十九年十二月に、クリスマスのスポーツ大会「三菱UFJ信託銀行フレンドサークル」を開催しました。この大会は、愛知県下の児童養護施設の小学生を招き、さまざまなスポーツ競技を行うイベントで、今回が初めての開催です。

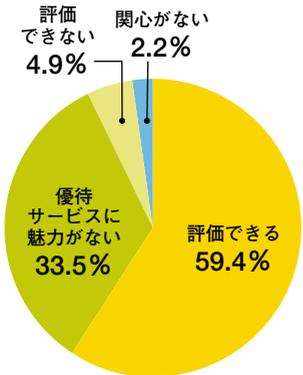
当日は、総勢八十七名の小学生が従業員と一緒に、ドッジボール、バドミントン、フリースロー、ストラックアウトを楽しみました。子どもたちからは「とても楽しい一日だった」「新しい友達ができてうれしかった」などのお礼の手紙をいただきました。今後も、地域に根ざした活動に取り組みしていきます。



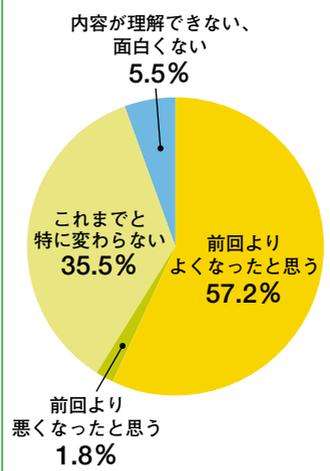
株主アンケート結果のご報告

「株主の皆さまへ第三期中間期」(平成十九年十二月発行)のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果をご報告するとともに、特に多かったご意見・ご質問をご紹介します。

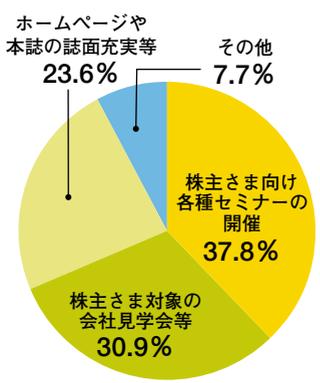
株主優待制度に関するご意見



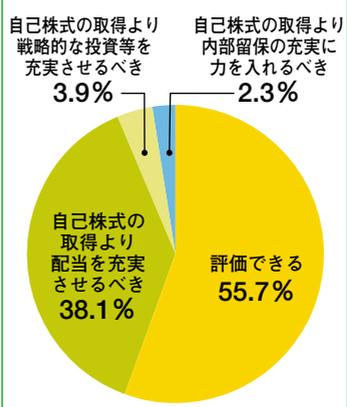
「株主の皆さまへ 第三期中間期」の感想



今後、希望される活動



自己株式取得に関するご意見



ご回答いただいた株主の皆さま / 回答者数：11,443 件(回答率約 2.8%)
 男性：72% 女性：28%

いただいたご意見・ご質問のなから

株主優待制度について

株主優待制度の導入を「評価できる」とする声が多く寄せられた一方、「優待サービスの内容をもっと充実してほしい」とのご意見もありました。

平成二十一年一月に開始する次回の優待サービスについては、前号で実施したアンケート等で株主さまからいただいたご意見も参考にして、検討してまいります。

新システムへの移行について

自由コメント欄に「銀行のシステム統合を早く完遂してほしい」とのご意見が寄せられました。

六ページでご説明のとおり、三菱東京UFJ銀行では、平成二十年十二月にかけて、順次新システムへの移行を実施します。移行作業のため、今後も同行オンラインサービスの一時休止を実施してまいります。ご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解を賜りますようお願いいたします。

また、三菱UFJ信託銀行では、平成二十年五月に

預金・信託・為替等の基幹システムの切替を完了しました。

株主さま向けセミナーの開催について

「株主対象のセミナーや見学会などを実施してほしい」とのご意見をいただきました。

このようなご意見を踏まえ、平成二十年九月三日、五日に株主さま向けに「MUFJ為替相場セミナー」を開催することとなりました(詳細は、十六ページをご覧ください)。今後は、開催地域の拡大も検討してまいります。

そのほか、本誌の内容に関して「業績をもっと具体的に説明してほしい」「海外拠点紹介を充実させてほしい」といったご意見をいただきました。

頂戴したご意見は、今後の本誌作成やIR(投資家向け広報)活動の参考にいたします。

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞 ただし、決算公告は当社ホームページに掲載 (ホームページアドレス http://www.mufg.jp/)
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所・取次所	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〈お問い合わせ先・郵便物送付先〉 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店

お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のテレホン自動音声応答サービス

0120-244-479 (通話料無料)

で24時間承っておりますので、ご利用ください。

取締役・監査役(平成 20 年 6 月 27 日現在)

取締役会長 (代表取締役)	たまこし 玉越	りょうすけ 良介	取締役	やすだ 安田	しんたろう 新太郎	取締役*	おおきしま 大木島	いわお 巖
取締役副会長 (代表取締役)	うえはら 上原	はるや 治也	取締役	ながやす 永易	かつのり 克典	取締役*	はらだ 原田	あきお 明夫
取締役社長 (代表取締役)	くろやなぎ 畔柳	のぶお 信雄	取締役	あきくさ 秋草	ふみゆき 史幸	取締役*	おおとし 大歳	たくま 卓麻
取締役副社長 (代表取締役)	おおもり 大森	きょうた 京太	取締役	たけうち 竹内	かずお 和男	常勤監査役	まつき 松木	はるお 春夫
専務取締役 (代表取締役)	さの 佐野	さぶろう 三郎	取締役	おかうち 岡内	きんや 欣也	常勤監査役	やすだ 安田	しょうた 正太
専務取締役 (代表取締役)	みずの 水野	としひで 俊秀	取締役	ひらの 平野	のぶゆき 信行	監査役**	いまい 今井	たけお 健夫
専務取締役 (代表取締役)	さいとう 齋藤	ひろし 広志	取締役	わち 和地	かおる 薫	監査役**	たかすか 高須賀	つとむ 翫
						監査役**	おかもと 岡本	くにえ 園衛

* 大木島 巖、原田 明夫、大歳 卓麻の各氏は、会社法第 2 条第 15 号に定める社外取締役です。

** 今井 健夫、高須賀 翫、岡本 園衛の各氏は、会社法第 2 条第 16 号に定める社外監査役です。

大株主(普通株式 平成 20 年 3 月 31 日現在)

	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	528,919,100	4.86
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	458,682,300	4.22
3 ヒーロー・アンド・カンパニー	345,922,541	3.18
4 日本生命保険相互会社	280,011,699	2.57
5 ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	217,112,712	1.99
6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.61
7 ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505103	152,482,956	1.40
8 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.37
9 明治安田生命保険相互会社	138,639,341	1.27
10 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (三菱重工工業株式会社口・退職給付信託口)	118,740,000	1.09
合計	2,564,773,802	23.61
発行済株式総数	10,861,643,790	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第 3 位以下を切り捨てて表示しています。

2. 上記のほか、当社が保有している普通株式の自己株式 500,889,485 株があります。

3. ヒーロー・アンド・カンパニーは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人です。

MUFG為替相場セミナー開催のお知らせ

当社では、日頃ご支援いただいております株主の皆さまを対象に、「為替相場セミナー」を開催いたします。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

開催概要

開催日時	第1回 9月3日(水) 13:30~16:30頃
	第2回 9月5日(金) 13:30~16:30頃
開催場所	三菱東京UFJ銀行ディーリングルームほか(東京都千代田区丸の内)
内容	第一部 ディーリングルーム見学 (ディーラーが取引を行う現場をご覧いただけます)
	第二部 為替相場セミナー (為替相場の動きや見通しなどをアナリストが解説いたします)
募集対象者	平成20年3月末時点で当社株式を100株以上お持ちの株主さま (ご同伴者1名さままで可)
募集人数	各回100名さま(ご同伴者含む)



応募要領

応募方法 同封の「MUFG 為替相場セミナーご参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

ご記入要領

1. ご希望日をご選択ください(いずれか一方をお選びください)。
2. 株主さまのお名前、郵便番号、ご住所、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
3. ご同伴者がある場合、そのお名前、郵便番号、ご住所をご記入ください。
4. 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

締め切り 平成20年7月16日(水)消印有効

応募多数の場合、抽選とさせていただきますのであらかじめご了承ください。
厳正な抽選の上、当選された株主さまには8月中旬頃にご招待状をお送りいたします。

(ご注意)

1. 当日の受付時刻および集合場所等の詳細につきましては、当選された株主さまに別途ご案内いたします。
2. 参加費は無料ですが、開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
3. 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合は、無効となる可能性がございます。
4. やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先: 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主セミナー係
電話: 03(3240)8111(代)

MUFGのホームページでは、最新のニュースリリースやグループのCSR(企業の社会的責任)活動など、株主・投資家の皆さま向け情報を掲載。

平成19年度には、株主優待情報のページを新設しました。外部のIRサイト評価会社からも高く評価され、大和インベスター・リレーションズ株式会社の「インターネットIR・ベスト企業賞」を2年連続で受賞、ゴメス・コンサルティング株式会社の「Gomez IRサイト総合ランキング」優秀企業に2年連続で選出されています。

トップページ



<http://www.mufl.jp/>

個人投資家の皆さまへ



<http://www.mufl.jp/investors/>



大和インベスター・リレーションズ(株)の「インターネットIR・ベスト企業賞」



ゴメス・コンサルティング(株)のIRサイト優秀企業

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
電話03(3240)8111(代表)
URL:<http://www.mufig.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
Tel:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)